

5.眞な祈禱について

天声神語

“己”という主体意識が悪魔の靈である
と聖書に記しているので、“自我”というのが欲を出しても罪になるように“我”というのが祈っても罪であり、“我”というのが神を信じても罪になる。
“自我”というのが悪魔だから、「我」が祈れば悪魔が祈ったことになるので、悪魔が返事する。これをもって、よく啓示を受けた、神を見たなどと、言いふらしているのである。
「己という自我」が祈れば罪になる。

聖書には敢然と“あなたは主の内に行なえ”と言っているから、神の内で行なわず、自我自身により行なったことは全部、律法に違反していることになる。

主の内で行なわねばならないので、神が来られて祈ってこそ、祈りになるのであって、自分の考えだけで重言復言することは、祈りにならないのである。
禱るとき、“事業繁栄をお願いします”
“健康な体にしてください”
“統一するようにしてください”
“祝福してください”

これは全部、神にしてくださいことを祈るだけである。
“我”というのが元来、慾心の靈だから、ひたすら貰うことしか知らないのである。
こういうのは祈りとは言えない。だから、己が祈ってはならず、聖なる神の内で聖心の神が祈ってこそ祈りになるのである。
このことが聖書に明白に記してあるにも拘わらず、今日、聖書を信ずる者たち全部が、乞食のような祈りをしている。これは祈りとは言えない。
聖なる神とは関係のないところで、関係のない事業をしているのである。
聖書の意味を正確に把握していないのである。
聖靈に満たされたということは、聖

新時代

新文化運動と哲学

なる神が“自我”に勝って主体靈になるということであり、聖心の神の主体靈になれば、“聖靈の神の内で行なう”ことになるので結局、“聖靈に蘇れ”“主の内で行なえ”“聖神の内に本心の我があり、真我の内に聖神がいましてこそ救いである”等は、みな同じ意味であるのだ。

現在の仮我が死に“聖靈の神が我になれば”聖神が主体靈になるので、考えも聖心の神が考えることになり、祈っても聖神が祈ることになり、歩いても聖靈の神が歩くことになるので、聖なる神に昇格さえすれば主の内でも暮らすことになり、罪を滅ぼすことにもなり、罪を滅ぼしたので“救いを得た”になり、救いを得て永生の内に入ったことになるのである。

そこで、聖神に蘇った者は罪を犯してはならず、血が聖靈の聖血に変わらなければならぬ。そして、永生してこそ真物の聖神に蘇った者である。口だけで“甦った”、“聖靈を受けた”などと叫んでみたところで何にもならないのである。

これが、まさに聖書の主題であり、聖書の要旨でもあり、聖靈が望んでいる聖神のである。
これで、聖書の解釈は全て終わったのだ。これ以上、細かい解釈は必要ないのである。

永生する秘訣

永生の秘訣があるとすれば、その秘訣とは如何なるものか？
それは、誰をも我が身の如く思えることである。
“誰をも我が身の如く思え”
これは簡単なようだが、實際生活で実践した場合、かれの血が変わり体が変わって、永生する身体に変化する秘訣である。
誰でも人類は全て兄弟であり、天の聖神から繼生れてきた一体で

新時代

新文化運動と哲学

ある。

われわれ人類は間違いなく一体ではあるが、悪魔の靈が人間を占領して別々に分けているので、悪魔が支配する靈になり、悪魔の考えが回っているのである。
だから、人間はそれぞれ自分のみを考えることは知っても、兄弟を我が身の如く、全人類を一本の木だという考えを完全に忘却してしまったのである。

そこで、我が身を他人の身だとする未開な社会を啓蒙し、全てが一身体であるということを知らしめることが、眞の啓蒙であるのだ。

そうすれば、人間が老いず、死なない、この永生哲学がまさに世界を統一する法であり、世界を統一する法だけが万国を治めることができるのである。

そして、万国を治める者のみが、世の中を救う救世主になることができるから、救世主が、まさに死を克服した勝利者であり、勝利者が救世主になるしかないのである。

救世主が、まさに世を統一した者だから、勝利者が別にあり、救世主がまた別にあり、生弥勒が別にあるのではなく、勝利者が救世主であり、救世主が弥勒仏であり、弥勒仏が勝利者であるのである。

人類全体が悪魔の獄にいる眼が見えない人の如き生活をしているところへ、勝利者が現れ見えない人々の眼をあかし、悪魔の考えを除去して、聖心の考えを取り戻してあげれば、誰をも我が身の如く思うので、欲を出すにも出しようがなくなる。
そうして、争おうにも争いようがないから、ここが、まさに地上天国であり、極楽世界に相違ないのである。

たとえ、隣人がどんなに大きい金塊を持ってしようと、隣人が我が身だけ

구습(舊習)에 물든 자는 죽으리라

의 심승의 진리를 믿고 몸소 행해야 하는

니라.

自古國家興亡 莫座天神寵獲
자고국가흥망 막좌천신궁획
謹花朝鮮 瑞光濟蒼生
근화조선 서광제창생
英雄君子 自西自東集合仙中矣
영웅군자 자서자동집합선중의
塗炭百姓 急覺大夢 도탄백성 급각대몽
不遠將來目前之禍矣 可哀可哀矣
불원장래목전지화의 가에가어의

예로부터 국가의 흥망이 있어 왔지만 하나님의 가호만 얻으려고 하지 말고 사랑을 살리는 데 힘써라. 무궁화 피는 한국에 사랑이 비쳐오니 못 창생을 구제하려는 영웅군자들이 동과 서에서 선경을 찾아 모여들게 되리라. 황금만능의 세상 속 도탄에 빠진 백성들이여! 하루빨리 헛된 꿈에서 깨어나라. 머지않은 장래에 눈앞에 재앙이 닥치리라. 수많은 사람들이 때 죽음을 당하게 되니 애처롭고 애처롭도다.

聖山尋路(一) 성산심로

- 성산(聖山)은 계룡산이요 계룡산은 정도령을 말한다. 그러니까 성산심로는 정도령을 찾는 길이라는 뜻이다.

絶倫者 怨無心 절륜자 원무심
盜賊者 必先凶 도적자 필선흉
保身者 乙乙 보신자 을을
保命者 弓弓人去處 보명자 궁궁인거처
四口文人留處 사구교인유처
害國者陰邪 해국가음사
輔國者陽正 보국자양정
強亡柔存 革心 강망유존 혁심
從心薰染者死 종심구염자사
從新者生 종신자생

천륜을 끊는 자는 죽으리라. 원(怨)에서 마음 심(心)을 없애라(無)고 하였으니 죽을 사(死)가 된다. 도적질하는 자는 반드시 먼저 흉하리라. 몸을 보전해주는 자는 을을이요 목숨을 보전해주는 자는 궁궁인 즉 심승인이 거처하는 곳이니 4개의 입 구(口)자를 합한 전(田)의 사람이 계신 곳이니라. 나라를 해롭게 하는 자는 음흉하고 사악하나 보국인민하는 자는 마음이 밝고 올바르니라. 강하면 망하고 온유하면 살아내리니 마음을 새롭게 바꾸어라. 구습에 물든 자는 죽을 것이며 마음을 새롭게 바꾸어 새 시대 새 진리를 따르면 살리라.

殺我誰小頭無髮 살아수소두무족
活我誰一人一夕 활아수삼인일석
助我誰似人不人 조아수사인불인
害我者誰似獸非獸 해아자수사수비수
世人難知兩白之人 天擇之人

논 단

新時代

新文化運動と哲学

라、その金塊も自分が持っているのと同じで欲が出ないし、隣人がどんなに美味しいものを食べても、自分が食べているのと少しも変わらないので生唾が出ないのである。

そういうことで、全ては我が身であり、聖神の肢体だということを明白に悟り、兄弟を神の如く見るから、これこそ明白で確實であり、感謝と賛美に満たされ、“己”という意識が忽然と消えてしまい、自他のない統一された世界が、ここから開かれるのである。

このことは幻想ではなく、理想でもない。話通り新しい世の中に間違いないのである。“自我”という考えのない人に欲が出るはずがなく、欲がないから血が腐ることもないのである。血が腐らないから病気にならず、血が腐らないから老いず、血が清くなるから毎日毎日若返るのである。

これ以上の科学はない。眞の科学から、救世主が、まさに死を克服した勝利者であり、勝利者が救世主になるしかないのである。

元来、聖書では、「自我」というのが罪であり、「我」という意識を常に除去せよ、と言っているし、仏典でも無我の境地に入ってこそ、悟りが得られると言っている。にも拘らず、これを実生活に生かした人は一人もいないのである。

導いてくれる師匠がいなかったからか、宗教界は分裂と争いが横行し、良心的に生きようとする人や、聖神の意を実践せんとする人は生きにくく、悪魔が主宰する世界になっていたのである。

また、いままでは教える先生だけが多く、導いてくれる師匠がいなかったので、実際に死なないようにする救世主が現れたことを宣布しても、口達者

論 断

新時代

新文化運動と哲学

な詐欺師ぐらいにしか思わず、耳を傾けようとしないのである。

いままで詐欺師だけが縦横に横行したので、“兄弟を憎むなかれ”などと無責任なことを叫ぶのみで、憎むにも憎めない秘訣は教えずに、そのような根も葉もない話がどこにあるうか。

『姦淫するな』
だれでも、情欲を抱いて女を見るものは、心の中ですでに姦淫をしたのである”

言葉としては立派であるが、色情を抱かない方法を教える者がいないから、ああでもない、こうでもないと罪を犯さないために心を痛めるだけで、結局、罪の中で生きながら罪のために死んでしまったのである。

聖書でも罪のために死ぬ、罪のために地獄に落ちると言い、死ねば軽重に拘わらず罪のために死んだのだから、その罪を解決できないから死んでゆく人生だったのである。罪の中から完全に脱したものがいなかったから、また、死亡を解決し永生の旗幟を揚げたものがいなかったのである。

従って、罪を犯さない秘訣を知っているものは、死を解決する者であり、罪を解決するものは地獄をなくす者である。地獄をなくす者は、この地上から死を追い出す者であり、聖書でも“終わりに滅亡するのは死である”“死が勝利に呑まれる”と言ったのは、間違いなく勝利者を指しているのである。

死の流れ、死の潮流を換えて生命に換える者が勝利者であるということが、聖書では“初めのアダムは生きた靈だが、終わりのアダムは生かす靈なり”と、明確に記しあるのにも拘わらず、神学博士学位を十や百、取得した人であろうと、この封印された言葉を解いた人はいなかったのである。

いま、勝利者が出て解いている聖書

論 断

新時代

新文化運動と哲学

全体が神学校では解くに解かれぬエックス(X)的な問題であるのだ。ここでは勝利者が権能を発するので、ひた

すら、聖書の言葉は神靈が教えているという、いま、その言葉が実現しているのである。

よって、聖書の解けない謎を解いた者のみが主人公であり、聖書の主人公はまさに神自身であるのだ。人間“曹熙星”は勝利者ではなく、神が“曹熙星”を勝ち完全に占領されたので、曹熙星は勝利者ではなく、死んでいなくなったのである。

勝利者が、まさに神であるから、神が悪魔に捕らわれていたが、悪魔に勝って勝利者となったので、“聖神の神に蘇った”ということで、勝利した聖神の神に蘇るためには、過去に悪魔の靈棟の靈獄であった“自我”という意識を滅し、木端微塵に存在感を一掃しなければならず、過去の“自我”という意識が神の靈を生かすため死んだのだから、それが即ち“殉教者”であり、殉教者が即ち“復活者”であり、復活者が即ち“重生者”であるから、聖書で、いろいろと言っているようでも、全ては神御自身を明かすためのものである。結局は人類全体を神が救うための救援の本が聖書であるのだ。

この聖書を詳しく読んで実践しようとしたことのある者なら、この程度でも膝をたたき、あまりにも的確な解釈に感嘆し涙を流すようになっているのである。

悪魔の学問は難しいのである。分裂の神が動く学問だから割ったり、切ったり、分析したり、なおも新しい枝を切りながらむずかしく築いてゆくのが、この世の学問である。*

次の号に引き続き掲載
Subaru Kan / 新人類文化研究所長

www.victor.or.kr

서 발을 가는 법이다. 산도 들도 아닌 그곳에서는 소 울음소리(우명성牛鳴聲=정도령의 진리말씀)가 들리니라. 거기는 글을 몰라도 동통하나니 높은 소리로 찬송을 부르고 진인(정도령)을 모시고 혈맥관통 하도록 박수를 힘차게 치느니라. 그 모습에 손으로 춤을 추는 것같이 보인다는 말이다. 세상 사람들이 비웃지만 무릎을 꿇고(금강좌=金剛坐) 육신 속의 마귀를 박멸소탕하고자 멸마경(滅魔經)을 외우는 기도가 끊임없으니 모두 영원한 생명(영생)을 얻으리라. 멸마경이 끊어지면 만에 하나라도 살지 못하리라. 생사판단은 모두 마음에 달려있느니라. 하나님의 마음을 가지면 살 것이고 마귀의 마음을 가지면 죽는다는 말이다.*


궁공의 심승지는 죽음의 구렁텅이에 빠진 중생들을 건져내어 영원한 생명을 얻게 해주는 구원의 방주요 우성(牛性) 하나님에 들에 있느니라. 우성인은 궁공의 하나님과 하나가 되어 궁공을을 정도령이 된다. 밝은 들에 있으며 야(野)자에도 발전(田)자가 들어 있다. 소(牛)는 들(野)에

박명하 / 고서연구가
myunghpark23@naver.com
010-3912-5953

당신을 영생의 세계로 안내하는 신문

성금계좌 : 우체국 103747-02-134421 예금주 : 이승우

승리신문은 독자님들의 정성어린 성금으로 만들어집니다
전국 각지에서 성금을 보내주신 분께 감사드립니다

승리신문	1990.3.3 등록번호 다 - 0029
발행인 겸 편집인 김중만	
본지는 구세주(정도령, 미륵불)께서 말씀하신 사랑함이 실제로 죽지않는 원리(영생학)를 누구든지 쉽게 배우고 실천할 수 있도록 소개하여 질병과 죽음이 없는 개벽된 세상을 만들고 진정한 평화의 세계를 구현하는 데 기여함을 목적으로 발행됩니다.	
경기도 부천시 소사구 안곡로 205번길 37 우 14679	광고 및 구독신청 전화 032) 343-9985 FAX 032) 349-0202
홈페이지 www.victor.or.kr	
본지는 신문윤리강령 및 그 실천요강을 준수합니다.	

격암유록 新 해설 수정판 제 22회

未運論(말운론)

十勝何處耶虛中有實
십승하처야허중유실
牛性和氣有人處謂也
우성화기유인처위야
兩白三豊何乎 양백삼풍하호

一勝白豊三合一處也
일승백풍삼합일처야
不老不死長仙之業 불로불사장선지야
水昇降之村 有處謂之兩白三豊也
수승강지촌 유처위양양백삼풍야
有智君子何不愼 難察難察也
유지군자하불신 난찰난찰야
嗟嗟衆必生愼謹篤行
차차중필생신근독행

심승은 어디에 있나? 허(虛)중에 실(實)이 있으니 즉 지십승(地十勝)이 아니고 천십승(天十勝)이다. 성품이 불바람처럼 온화한 분이 계신 곳이니라. 양백 삼풍은 무엇인가? 이긴자 한분과 양백 삼풍이 하나로 합쳐진 곳이 심승지이니라. 불로불사 장생불사의 신선의 불사약으로서 성령의 불은 내려가고 성령의 생명수는 올라가니 이른바 양백 삼풍이니라. 지혜 있는 군자라면 어찌 신중하게 살피지 못하겠는가 마는 살펴보기가 어렵고도 어렵구나. 슬프고 슬프도다. 중생들이여! 꼭 살고자 한다면 자신의 잘못을 반성하고 모든 언행을 삼가고 조심하며 독실하게 양백 삼풍